患者向医薬品ガイド

2023 年 5 月更新

ラステットＳカプセル 25mg
ラステットＳカプセル 50mg

【この薬は？】

販売名	ラステットＳカプセル 25mg Lastet S Capsules 25mg	ラステットＳカプセル 50mg Lastet S Capsules 50mg
一般名	エトポシド Etoposide	
含有量 (1 カプセル中)	25mg	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、抗がん剤とよばれるグループに属する薬です。

・この薬は、がん細胞の細胞分裂時のＤＮＡ（デオキシリボ核酸）の分裂に関与する酵素を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。

・次の病気の人に処方されます。

〇肺小細胞癌
〇悪性リンパ腫
〇子宮頸癌
〇がん化学療法後に増悪した卵巣癌

・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減した

りすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○患者さんや家族の方は、この薬の必要性や注意すべき点などについて十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意をした場合に使用が開始されます。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

・重篤な骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）のある人

・過去にラステットＳカプセルに含まれる成分で重篤な過敏症を経験したことがある人

・妊婦または妊娠している可能性のある人（妊娠中にこの薬を投与された患者で児の奇形が報告されています。また、動物実験で催奇形性が認められています。）

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）のある人

・感染症にかかっている人

・水痘（みずぼうそう）にかかっている人

・腎臓に障害のある人

・肝臓に障害のある人

・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量は次のとおりです。

〔肺小細胞癌の治療の場合〕

一日量	１７５～２００ｍｇ

５日間連続で飲み、その後２１日間（３週間）休みます。

これを１クールとして繰り返します。

〔悪性リンパ腫の治療の場合〕

	A法	B法
一日量	１７５～２００ｍｇ	５０ｍｇ

A法：５日間連続で飲み、その後２１日間（３週間）休みます。
これを１クールとして繰り返します。

B法：２１日間連続で飲み、その後７～１４日間（１～２週間）休みます。
これを１クールとして繰り返します。

〔子宮頸癌の治療の場合〕

一日量	５０ｍｇ

２１日間連続で飲み、その後７～１４日間（１～２週間）休みます。
これを１クールとして繰り返します。

〔がん化学療法後に増悪した卵巣癌の治療の場合〕

一日量	体表面積１m^2あたり５０ｍｇ

２１日間連続で飲み、その後７日間（１週間）休みます。
これを１クールとして繰り返します。

●どのように飲むか？

カプセルの中身を出したり、カプセルをかみ砕いたりせずにコップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。カプセルの内容物が身体に付着した場合は、速やかに洗い流してください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。
飲み忘れた分は飲まずにとばして、次の決められた時間に１回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬により骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）などの重篤な副作用がおこることがあり、ときに致命的な経過をたどることがあるので、使用中は頻回に臨床検査（血液検査、肝機能検査、腎機能検査など）の検査が行われます。

・体の抵抗力が弱まり、かぜなどの感染症にかかりやすくなることがあります。人ごみを避けたり、外出後は手洗いやうがいなどをしたり、感染症にかからないように気をつけてください。

・出血しやすくなることがあります。鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざなどの

症状があらわれることがあるので、十分に注意してください。
・他の抗悪性腫瘍剤との併用により、急性白血病、骨髄異形成症候群が発生したとの報告があるので、十分に注意してください。
・小児や生殖可能な年齢の人にこの薬を使用する場合には、性腺に対する影響を考慮して使用されます。
・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。妊娠の可能性があるときは、すぐに医師に相談してください。
・妊娠する可能性のある女性やパートナーが妊娠する可能性がある男性は、適切に避妊を行ってください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ 【汎血球減少】 めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み 【白血球減少】 突然の高熱、寒気、喉の痛み 【好中球減少】 発熱、寒気、喉の痛み 【血小板減少】 鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい 【出血】 出血 【貧血】 体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、出血が止まりにくい、出血しやすい、突然の高熱、体がだるい、出血
頭部	頭が重い、めまい、頭痛
顔面	鼻血
耳	耳鳴り
口や喉	喉の痛み、歯ぐきからの出血、咳
胸部	動悸、息切れ、息苦しい
皮膚	あおあざができる

【この薬の形は？】

販売名	ラステットＳカプセル 25mg	ラステットＳカプセル 50mg
ＰＴＰシート		
形状		
長径	１４．５mm	１７．８mm
短径	５．１mm	６．１mm
重さ	２３０mg	４５０mg
色	本体：薄いだいだい色 帯：白色	本体：薄いだいだい色 帯：白色
識別コード	ＮＫ7014	ＮＫ7015

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ラステットＳカプセル 25mg	ラステットＳカプセル 50mg
有効成分	エトポシド	
添加物	マクロゴール、ポビドン、ヒドロキシプロピルセルロース、クエン酸 （カプセル本体）　ラウリル硫酸ナトリウム、ポリソルベート８０	

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。

・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。

・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本化薬株式会社（https://www.nipponkayaku.co.jp/）
くすりの相談窓口
電話：０１２０－６５６－２１６
受付時間：９時～１７時３０分
（土・日・祝日及び弊社休業日を除く日）